令和７(2025)年度下都賀地区初任者研修会（授業研究）を開催しました。

令和７(2025)年６月24日（火）実施
下都賀教育事務所　学校支援課

１　研修の目的・内容等

（１）目　的

新規採用教員に対し、先輩が行う授業の参観や授業研究会等を通して、教科等の指導に関する研修や指導上の諸問題についての協議を行い、教員としての指導力と資質の向上を図るとともに、管内新規採用教員の相互交流を図る。

（２）会　場

○　小学校会場　小山市立大谷北小学校
　　小山市立羽川西小学校
○　中学校会場　小山市立小山第三中学校

（３）内　容

○　趣旨説明及び諸連絡
　「授業の見方と学習指導について」　下都賀教育事務所　学校支援課　担当
○　授業参観（教科）
○　授業研究会（班別研修）

２　本研修で確認したこと

（１）学習指導

（「令和７(2025)年度　とちぎの教員15（いちご）研修資料」ｐ９
「令和７(2025)年度版　下都賀地区学校教育の重点」ｐ6・ｐ9より）

○　学習指導は、教師の生命ともいうべきものである。
○　授業をいかに行うかは、教師にとって最も重要な課題である。
○　児童生徒一人一人が自分のよさを生かして、主体的に課題を解決し、豊かに成長することができるよう、教師は常に創意工夫に努める。
○　教師が教え込むスタイルの授業ではなく、児童生徒の活動を重視し、児童生徒一人一人を主体とした授業の実践に努める。
○　実践を通して、生涯にわたって学び続ける児童生徒を育てていく。
○　ねらいを明確にした分かる授業づくりのために、ねらいの提示の仕方を工夫し、ねらいを基にした振り返りの充実を図ることが大切である。
○　言語活動を取り入れる目的を明確にし、その充実を図る。
○　「学業指導」の充実
　・学びに向かう集団（学級）づくり
　・子どもが意欲的に取り組む授業づくり

３ 本研修で学んだこと（研修者が記入した「研修の振り返り」から）

- めあてを児童と一緒に立てていくという点が大変勉強になりました。教師側から一方的にめあてを提示するよりも、児童と一緒に立てた方が児童の学習に対する課題意識が高まり、より学習への意欲が湧くと感じたため、今後自身の授業においても実践していきたいと感じました。
- 授業参観を通して、ねらいを明確にすることについて、めあてを児童の言葉で設定することで児童は自分事として学習に取り組み、達成感を味わうことができるということが分かりました。
- 今回の研修で学びに向かう集団づくりと意欲的に取り組む授業づくりの重要性を強く感じ、勉強になりました。特に、授業研究会での研究協議で違う学校の先生方と話をすることができ、自分の視点と違う視点からの意見を聞くことができました。さまざまな授業づくりや展開の方法、学級の運営の仕方を学ぶことができました。
- ねらいを明確にして、分かる授業づくりをしていきたいと思いました。児童の実態を踏まえ、どのような力を身に付けさせたいかを確認し、ねらいの示し方の工夫や、ねらいを基にした振り返りを充実させることができるようにしたいです。何が分かったか、何ができるようになったかなどの視点を明確にして、振り返りでは児童生徒が学びや変容を自覚できるようにしていきます。
- 授業を行う際には、本時だけでなく、単元全体のめあてを共有し、子どもたちとともにめあてを設定していくことで、子どもたちの目的意識が高まると感じました。
- １時間の授業で生徒にどんな力を身に付けさせたいのかも重要ですが、単元全体で何を身に付けさせるのかの意識が、今までを振り返ると低かったように思います。単元全体をイメージして、最終的にこうなってほしいというビジョンをより明確にして指導していきたいと思います。
- 子どもたちへの声のかけ方や子どもが自発的にやる気を出す工夫が自分にもできそうだと思いました。また、児童と会話をしながら授業を進めている様子や指示の出し方などが参考になりました。
- 机間指導や全体発表の際に、児童の意見を受容的な態度で受け止め、話を聞いている先生の姿を見て、生かしたいと思いました。先生が穏やかな表情で、また、児童の目をしっかりと見つめながら、静かに話を聴いているから、児童は安心感をもって発言できるのではないかと思いました。
- 学習指導や生徒指導する中で、ついつい改善点に目が行ってしまうが、そんな中でも教師が笑顔で接することで、子どもたちの安心感へとつながっていくことを学びました。今後の学級づくりに生かしていきたいです。
- 授業の冒頭で見通しをもたせることで、子どもたちがめあてに向かって取り組んでいけることが実感できました。
- 授業を参観し、学習規律や環境、児童の授業に対する姿勢が印象に残りました。授業研究会では、自分には考えることのできなかった授業の改善点や意見に触れることができました。情報交換では、他の方が課題と感じられていたことに共感することができ、共に解決方法を考えることができました。少しずつ変化に取り組んだり、児童と共通理解や習慣化を図ったりしていきたいです。
- 先輩養護教諭から担任の先生や保護者との連携についてのお話をたくさん聞くことができ、子どもたちの心身の健康や課題解決のために連携は欠かせないこと、よりよい人間関係を築くことが効果的な連携につながることを学びました。今日伺った様々な実践を自校に合わせた形で取り入れていきたいと思いました。